

# 福岡ランニングセンター(FRC)ニュース NO.56

発行日：2020年7月31日

発行責任者：西村文男

事務局 新日本スポーツ・福岡県連盟北九州事務所 TEL・FAX 093-662-9278

〒806-0013 北九州市八幡西区清納1丁目1-10 E-mail [krc-fn@jcom.home.ne.jp](mailto:krc-fn@jcom.home.ne.jp)

福岡ランニングセンター(FRC) <https://www.njsf.net/zenkoku/pref/fukuoka/running/>



1kのスタート

## 第37回月例マラソン

### 半年ぶりに再開！！

7月19日(日)に第37回みずまき月例マラソンを開催しました。何と、昨年2019年12月15日(日)の第31回以来で、半年ぶりの開催となりました。

2月は雨天中止でしたし、3月以降はコロナ禍で管理者である水巻町役場の使用許可がありませんでした。苦肉の策として4月～6月は練習会

を開催してしのいで来ましたが、今回の第37回でやっと開催にこぎつけました。

スタッフもいささか緊張気味、何人の参加があるか心配しましたが、結果は51名の参加でした。このうち新規登録者は16名もありました。この結果、月例登録者は324名になりました。

既登録者からの口コミや新聞記事(全国紙3紙と西日本、赤旗の計5紙に毎回掲載依頼をしています)を読んだ新規登録とありますが、コロナ禍で屋外行事の自粛が続く中でランニング愛好者の要求を実感しました。

また10キロコースの折り返し手前に大きな水溜りがあったため、急遽変則コースでの実施としました。しかし、3キロの種目のスタート時刻を9:15としたため、定刻の9:45と思って来た選手がスタート後に来て出場できなくなり、問題を残しました。今後検討が必要となりました。

今回ぶどうの差し入れを頂き、ランナーの皆さんに大変好評でした。ありがとうございます。

最後にランナーの皆さんにお願いです。今回複数の参加者のゼッケン忘れがありました。ゼッケンは長期使用に耐える仕様になっています。大事に保管していただき当日は忘れずに持参してください。



3kのスタート

## 半年ぶりの再開を待ちわびる

### ●秋好芳子さん(No130)

コロナ禍でこんなに状況になりましたが、再開され、うれしいです。人と一緒に走ることで自分自身の励みになります。

### ●橋本裕治さん(No314)

初参加です。HPで検索しました。ポイント練習の一環です。一人練習はモチベーションが上がりにせんね。みんなで走れて良かったです。

### ●白石清美さん(No276)

この間は自分でコツコツ練習していましたが、記録を測ってもらえる機会がなかった。月例会は気持ちのモチ方がやはり違います。気合が入りました。



## にこにこペースの平和マラソン無事終了！

7月26日(日)に「第12回にこにこペースの平和マラソン」を開催しました。

この平和マラソンは、2009年7月20日に第1



門司港駅をスタート

回を企画しましたが、雨天により中止しました。それから走り続けて、今回で 12 回目となりました。

第 1 回から前回までは、門司港駅をスタートして八幡東区の小伊藤山公園までを走って来ましたが、何とか市内の網の目マラソンが出来ないものかと思案してきました。今回、新型コロナウイルス感染対策で、みんなと一緒に走るのがダメなら、それぞれが自由に走ってゴールしてはどうかということで、この企画が生まれました。

朝 9 時に門司港駅と下曽根駅と八幡駅をスタートするコースと、10 時半に折尾駅をスタートするコースと四コースを設けました。

ゴールは八幡東区の小伊藤山公園です。

小伊藤山公園には戦時中、防空壕がありました。1945 年 8 月 8 日の八幡大空襲で、その防空壕に逃げ込んだ 300 人余りの市民が、防空壕の中で犠牲になりました。爆弾で焼き尽くされた市内の上空を炎と黒煙が覆いました。翌、8 月 9 日に長崎に投下した原子爆弾を積んだ爆撃機が、小倉の上空に現れ、原子爆弾を落とそうとしましたが、厚い雲と黒煙に覆われて目標が定まらず、長崎に投下されました。戦後、八幡駅前には平和を願い復興を目指して整備されてきました。ロータリーの真ん中には平和祈念像（女神の像と鳩）があります。そして、日本を代表する村野藤吾設計の八幡市民会館や美術館、八幡図書館等が創られて「文化の拠点」としてスタートしました。

しかし昨年、市民の反対の声を無視して八幡図書館は壊されました。八幡市民会館は残りましたが戦後復興の思いが失われようとしています。

この日の八幡駅コースはスタート直後、激しい雨に見舞われましたが、その後、雨もやみ渡船場に着き、渡船で戸畑から若松に渡り洞海湾を一周して小伊藤山公園にゴールしました。このコースを走った神田孝さん・加藤由美子さん・近藤咲子さんの三人は 20km を 2 時間 10 分で見事完走しました。

四コースの他にも自宅から小伊藤山公園までオリジナルコースを走ったり、歩いたりしてゴールした方もいました。ゴール後、小伊藤山公園の慰霊塔の前で記念撮影をして解散しました。

今回は、スタッフ 6 人、ランナー 13 人、ウォーキング 1 人の合計 20 人の参加者でした。



八幡駅コースの 3 人

## 第 6 回のおがた新春マラソン

### これまでと変わらない申込み !!

来春 2021 年 1 月 10 日（日）に開催する「第 6 回のおがた新春マラソン」の参加受付を開始しています。現在のところ、ランネットで 204 人、スポーツエントリーで 29 人、郵便振替で 37 人の合計 270 人の方の申込みが来ています。

これまでのところ、これまでの取組と変わらないペースで申込みが来ています。大きな大会が開催中止になる中で、何とか走りたいという気持ちの表れだと感じています。

参加者の思いを実現するために、事務局も頑張らなければと、思いを新たにしています。

### 《役員だより》

先日嘉麻市から馬見山に登った折、山登り用の某アプリをスマホに入れて使用してみたところ、これがなかなかの優れもので、予めコース設定しておく定期的に現時点の時間・高度の音声通知、コースを間違えると音声で知らせる、途中でメモや写真を取り込んで記録したりと、余りの便利さに驚愕。これは体力の低下した中高年ほど使用すべき代物であると感じた。

スマホを十分使いこなしている者からすれば、何を今さらといったところなのだろうが、70 歳を前にしてやっとスマホを使い始めた身としては感嘆しきり。

もちろんスマホの使用に関しては様々な弊害も指摘されている。眼、その他への健康障害、悪意のあるブログ等へ付和雷同的に賛同してしまっただけで加害者になってしまう危険性、サイトを閲覧したりネット購入したとたんに、趣味嗜好に合わせた商品紹介のメールが次々に送られて来て閉口したりと弊害もあるが、災害予防の為にアプリ等生活に役立つものも多くある。

要は使い方次第で毒にも薬にもなるのであって、今後スマホが普及し続ける事は間違いないだろうから、少しでも生活に役立て、命を守ることに役立てていければいいと考える次第である。（田）